

殿山第二小だより

令和 4年 4月 25日 第4号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

発行責任者 校長 山本 容子

「子どもの読書週間」

4月23日は「子ども読書の日」でした。また、4月23日から5月12日の期間を「こどもの読書週間」の期間として、全国的に読書を推進するためのイベント等が開催されています。このことは、平成13年12月「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立し、その第10条により定められているものです。

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力・想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで、欠くことのできないものです。

殿山第二小学校でも、週に一度、木曜日を朝読書の時間（8:30～8:40）とし、全校生で取り組みをすすめています。今後も図書室や教室の言語環境を整える作業を、公立図書館や外部人材、教職員、図書委員会活動と連携しながらすすめていきたいと考えています。

子どもたちには、“読まされる”読書ではなく、自ら『読みたい』『知りたい』『考えたい』と思う読書をしてほしいと思っています。子どもたちが読書活動を通じて豊かな人間性や感性、読解力などを育むことができるように読書活動を推進していきたいと思ひます。

読書効果については、次の6点の効果があると言われています。

- 1) 語彙・言語能力が高まります。
- 2) 集中力が身につきます。
- 3) 想像力や感受性が豊かになります。
- 4) 人の気持ちが分かるようになります。
- 5) 物事に対する興味関心が強くなります。
- 6) 学習意欲が沸きたちます。

また、独立行政法人国立青少年教育振興機構が、高等学校2年生・中学校2年生（総勢約21,000人）

を対象に調査した「読書活動と意識や能力の関係を分析した調査」の結果から、次のような傾向が見られるということです。

子どもの頃（就学前、小学校、中学校時代）の読書活動が豊富であるほど……

- * 朝食を「毎日食べる」と回答した割合が高い。
- * 「なりたい職業、やってみたい仕事がある」と回答した割合が高い。



（ある小学校の図書室に
掲示されていた言葉です。）

本を読む子は
やさしい気持ちが
心にたまる

言葉がいっぱい
心にたまる

知識がいっぱい
心にたまる

正しい力が
心にたまる

楽しい世界が
心にたまる

ゴールデンウィーク中に素敵な本との
出会いがあるといいですね。

